

オンライン展覧会「将軍上洛 ー14代将軍徳川家茂と川崎ー」を 開催します

いえもち

川崎市市民ミュージアムは、オンライン展覧会「将軍上洛 ー14代将軍徳川家茂と川崎ー」を11月20日(金)10:00から開催します。

嘉永6年(1853)6月のペリー来航以来、日本は開国が攘夷かを巡って大きく揺れ動いていました。14代将軍徳川家茂は公武一和^{じょうい}のため、文久3年(1863)3月に約230年ぶりとなる上洛を敢行します。その往路では東海道を利用し、川崎宿に宿泊しました。久方ぶりに将軍を迎えることとなった宿駅や周辺地域ではその準備と対応に追われました。川崎では、過重な負担を強いられながら奔走した様子が記録に残されています。

本展では、将軍として唯一川崎宿に宿泊した家茂に焦点を当て、川崎宿や周辺村々がいかにして幕府の要望に応え、その困難を乗り越えたのかを紹介します。

※ 公武一和とは、幕末期、朝廷と幕府が一致して外敵の難を処理するとともに、朝廷の権威を取り込むことで幕府体制の立て直しを図ろうとした構想を言います。



五雲亭貞秀 東海道六郷渡風景
国立国会図書館デジタルコレクション

本展覧会は、川崎市市民ミュージアム Web サイト内の「the 3rd Area of “C” -3 つめのミュージアム-」で御覧いただけます。(無料・申込不要)

開催期間：令和8年11月20日(金)10:00～令和9年3月31日(水)15:00

<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>



【関連講座】

外国からの脅威、凶作・災害、政治不信などから社会が混乱するなか敢行された 14 代将軍徳川家茂による約 230 年ぶりの上洛を、美術と歴史の視点から考察する講座を開講します。

開催日程

講座① 「江戸時代の出版統制と御上洛関係錦絵」

令和 9 年 2 月 20 日（土）14:00～15:30

講師 やまもと のりこ 山本 野理子氏（川崎浮世絵ギャラリー学芸員）

講座② 「幕末の将軍上洛 ～人々はそこに何を見たのか～」

令和 9 年 3 月 6 日（土）14:00～15:30

講師 くすみ しんや 久住 真也氏（大東文化大学文学部歴史文化学科教授）

講座①、②の会場、定員等はいずれも下記のとおり。

会 場：東海道かわさき宿交流館 4 階 集会室
（〒210-0001 川崎市川崎区本町 1 丁目 8-4）

定 員：各回 40 名（事前申込制）
※申込多数の場合は抽選

受 講 料：無料

対 象：どなたでも

申込方法：（1）川崎市市民ミュージアム Web サイト内の申込フォームにて
必要事項を記入して送信

（2）往復ハガキ往信（裏面）に、希望講座番号・申込者氏名（フリガナ）と電話番号・参加人数（最大 4 名）、返信（表面）
に申込者の郵便番号・住所・氏名を明記し、川崎市市民ミュージアム宛て
（〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 6-15-2）に郵送

※令和 9 年 2 月 1 日（月）必着

※1 組 4 名まで応募可

※1 枚のはがきで複数の講座へのお申込み可

※申込多数の場合は抽選し、令和 9 年 2 月 6 日（土）までに連絡

（往復ハガキの場合は当落いずれも通知。Web の場合は当選者のみメールで連絡）

申込期間：令和 9 年 1 月 8 日（金）10:00 ～ 2 月 1 日（月）16:00

▼申込・イベント Web サイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/34741/>

主 催：川崎市市民ミュージアム



月岡芳年 「東海道 金杉橋芝浦」
国立国会図書館デジタルコレクション



河鍋曉斎 「東海道名所之内 桑名蜃気楼」
国立国会図書館デジタルコレクション



【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム こいずみ 古 泉

電話：044-712-2800（外線のみ）